

これからも東北に寄り添い 新しいチャレンジを応援

Efforts of Enterprises × The future of Tohoku

サントリーホールディングス株式会社

東日本大震災の復興を支援する「サントリー東北サンさんプロジェクト」を通じ、さまざまな分野で活動を行ってきたサントリーグループ。未来を担う子どもたちのために石巻市子どもセンター「らいつ」の建設なども支援。東北のこれからに向け「みらいチャレンジプログラム」を開始し、地域活性化を目指す取り組みをサポートします。



「サントリー東北サンさんプロジェクト」による支援で建設された石巻市子どもセンター「らいつ」。サントリーグループは「らいつ」を拠点に陶芸教室やバレーボール教室など、さまざまなワークショップやイベントを開催し継続的な支援を行っています

14年1月にオープンした石巻市子どもセンター「らいつ」も「東北サンさんプロジェクト」による支援の一つです。公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとの協働事業として、地元の子どもたちが企画して、デザインを考えた施設の建設費を全額支援し、オープン後も継続的にサントリーグルー

子どもたちの地域拠点、
社会参加の拠点として、
安心して遊べる場所づくりを行ってきました。



2021年3月30日に行われた贈呈式の様子。
タブレット端末などのデジタル機器やブロックなどの遊具が贈られました

震災10年の今年、「東北」とは話します。震災10年の今年、「東北」は福島県内で地方創生を実現する取り組み。21年7月から24年6月の3年間で、1億円規模の奨励金で助成され、新しいチャレンジを始めます。東北の未来に向けたさらなるサポートが始まっています。

2014年からは、チャレンジ・スポーツの育成・普及をサポート。アスリート個人・団体への奨励金をはじめ、普及のための環境整備を支援してきました。被災地の未来を担う子どもたちの支援にも力を入れ、奨学金給付やNPO助成の経済的支援とともに、学童保育や子どもセンターなど、安心して遊べる場所づくりを行ってきました。

さいたま市子どもセンター「らいつ」は、2014年にオープンした石巻市子どもセンター「らいつ」も「東北サンさんプロジェクト」による支援の一つです。公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとの協働事業として、地元の子どもたちが企画して、デザインを考えた施設の建設費を全額支援し、オープン後も継続的にサントリーグル

漁業の復興支援や
文化を通じた取り組みも

各社がワークショップを開催するなど、運営を応援してきました。震災10年の節目として、21年3月30日には学習

A機器や遊具を贈呈。

こうした息の長い支援

の中、らいつは被災地

の子どもたちの活動を

応援し成長を育む場と

なりました。

震災の発生当時、小

学生6年生だった近藤日

和さんは施設の企画に

携わり、現在は職員と

してらいつで働いてい

ます。「震災で子どもた

ちが安全に遊べる場が

なくなり、友だちもそ

れぞれ別の仮設住宅に移つて

離れ離れになり、みんなで集ま

れる場所があればいいなと思っ

ていました。らいつがオープン

し、ここでは運動や読書も楽し

め多くの人と出会える、私に

とって大切な場所でした」と振

り返ります。らいつは子どもた

ちが施設の運営に参加してい

るのも大きな特徴です。「これ

からは自分が子どもたちの活

動をサポートしていくたいです

ね」と近藤さん。館長の荒木裕

美さんは「震災後、さまざま

ことが変わりゆく中で、サン

タントリーグループの一貫した支援は

心強かった。伴走していただい

ている感じでとても安心感が

あります」と思いを語ります。

復興・創生に向けた
さらなるサポートを開始

「らいつは地域の拠点」と笑顔で話す館長の荒木裕美さん(左)と職員の近藤日和さん



suntory

サントリー東北サンさんプロジェクト
<https://www.suntory.co.jp/company/csr/support/>

